

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314

# かさおか



一年間を通しておちばを賑やかにしよう

1. 毎月一千人のおちばがえり
1. 五十万軒にをいがけとおさづけの取次

立教169年  
9月号

# 教祖百二十年祭 学生生徒修養会



去る8月9日(15日迄の一週間、おちばで「教祖百二十年祭学生生徒修養会」が開催され、1500名の学生(世話取りするスタッフは751名)が無事修了しました。笠岡からは12名が受講しました。以下、彼ら(彼女ら)にとったアンケートをご紹介します。

①、何によってこの学修を知り、誰に勧められましたか？(複数回答)

- a. 親(7人)・b. 会長(2人)・c. 兄弟(3人)・d. ハッピースト(1人)・e. 昨年参加したので(1人)

②、学修に参加する前の気持は？

- a. 後ろ向き・憂鬱・心配・不安・行きたくない(10人)・b. わくわく(2人)

③、学修参加後の気持ちについて

○今の気持ち

- a. 宿題が…、もう一回参加したい、友達が出来て最高、充実した一週間、参加してよかった、友達と離れるのがさみしい、楽しかった

b. 疲れた(1人)

○よかったこと

a. 友達ができた・天理教について学べたこと

○大変だったこと

- a. うちとけること、行進練習、朝起き、暑さ、睡眠。クラスメートが途中で帰ったこと

④、また来年も参加したですか？(1、2年生)

- a. したい(7人)・b. したくない(1人)

⑤、学修にまだ参加したくない高校生へメッセージを

絶対に行った方がよい(損はない、友達がたくさんできる、普段学べないことが学べる、楽しい、感動する、出来れば1年生で参加を)

☆参加者は、一様に受講前後での変化が見られる。「行きたくない・不安・心配」といった気持ちだが、様々な行事を「友」と過ごす中、一週間たつと「参加してよかった・友達と別れるのがつらい」といった気持ちに変わる。何とも不思議な一週間である。クラブ活動・勉強・アルバイト等、忙しい高校生に一週間おちばの行事に参加してもらうことは大変に違いない。しかし、それによって得られるものは彼らにも、また送り出す所属教会にとっても大きいと思う。アンケートの終わりに

## 【12】 エネルギー消費一定の法則!?



電化製品のおかげで楽になりました。豊かになりました。どこにもしわ寄せがないのなら、そんないいことはないのですが、やっぱり地球の喘ぎ声が聞こえます。電化製品の普及は、高齢社会に福祉社会に、絶対あってほしいもの。とって地球は有限。このジレンマをどうしましょう。たとえば、エレベーターもエスカレーターも、あれば使って楽しようというのでなく、荷物運びやハンディをもった人に譲って、元気なうちにはできるだけ私のからだを使いましょうか。からだも一つのエネルギー体なのですから。

「もつと気合を入れて人を集めた方がよいと思う」と一人の学生よりコメントが寄せられていたことを付け加えておきたい。

(学生担当委員長 吉岡 誠一郎)

## 布教推進週間

毎年恒例であります全分会布教推進週間を八月二十七日〜九月三日まで各教会各ブロック毎でさせて頂きました。この間には、他の行事等も重なっていましたが皆様方には御協力頂き、誠にありがとうございました。

そして今年もキャラバン隊を活動させて頂きました。先輩方の積み上げてきたものを崩さないように何とか自分たちも活動を続けて、その上にさらに積み上げられたらと年々続いてはいますが、今年は去年より人数を増やし、一名一人があらきとうりょうの使命を担って、上下、府中市ブロックを中心に活動をさせて頂きました。活動内容としては、よろづよ八首を唱和しながら神名を流させて頂き、町中から又、人気のない山中へと歩いて行きましたが、だんだんと民家がなくなるにつれてよろづよ八首がやまびこの様に返ってくる感じを受けふと、その時頭の中で思った事は、人気のない所で神名を流しても、意味があるのだろうか、そろそろ退散して帰る準備にかかる

うかと思いましたが、幾年か前に大教会長様がお話下さったお言葉を自分自身考え「意味のないところに、御守護があるのだ」と気持ち直して、尚一層声高らかに山中へ神名を流させて頂きました。

キャラバン隊では、二日間の日程ではありませんでしたが、ある教会では、一人又、二人と少人数の中でも、活動して頂きました。少人数の中でも活動して頂いた事は、人数に関係なく真実で動いて下さったものだと思います。

毎年活動内容を変えて出勤するキャラバン隊ではありますが、大きな成果は得られません。その積み重ねが、次に向かう塚へとつながる道だと思っています。「伏せ込んで芽生え、芽生えてはまた伏せ込む」と、聞かせて頂きます。伏せ込んだ理が、芽生えとなり、その喜びを味わい、成人させて頂ける元があると信じます。

キャラバン隊では、甲井分教会を拠点に活動させて頂き、会長様を始め、皆様方には、心温まるお心づかいを頂き、紙面上ではございますが心より御礼申し上げます。

(青年会委員長 浅野明教)

## ・原・稿・募・集・

### 内 容

①小随筆、②教会・布教所の独自の活動の紹介、  
③俳句・和歌・川柳、④教会行事開催後の報告記事 等々

### 字 数

1000字前後(800字~1200字)  
題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。  
俳句等は1句からでも結構です。

### 寄 稿 先

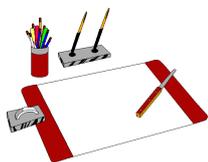
下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

FAX：0865-66-1314

メール：[tenkasa@kcv.ne.jp](mailto:tenkasa@kcv.ne.jp)

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



# 談話室



## 無題

匿名

九月に入って三日、九・十日と別席者をお連れしておぢばへ帰らせて頂いた。三日の日は日大教会A分教会の団体の中に見るからに「昔の天理教のおばちゃん」らしき御婦人がうつ病？気味な女性に対して抱え込むような姿で接しておられた。又、十日の午前席では台湾の若い人達三十人余りが、初席を運ばれていた。笠岡のU、S氏もタンザニアの青年と共に別席場に現れた。親里ぢばは国際色豊かになった感がひしひしと感ぜられると共に忘れかけていたひたむきな心に気付かせて頂いた。今年中に又、別席者の方をお連れして待合のイスで本を読みながらおぢば百景を、みせて頂けることを楽しみにしている昨今である。

## 教祖年祭の思い出 その三

神村分教会前会長 下田輝夫

一寸ペンを置いたら、知らぬ間に月日が流れて、

半年以上も過ぎてしまいました。昔を思い出し又紙面を汚させて頂きますので、お目を通して頂ければ幸せに存じます。

教祖七十年祭前には、直属ひのきしんには度々出させて頂きましたが、常備隊に五十日余りつとめさせて頂いた事は、私にとりまして生涯役立つ色々な事を体験させて頂き、良い勉強をさせて頂きました。昭和三十年三月下旬から五月上旬まで五十日余りつとめさせて頂き、笠岡を始め仙台、岡山、東濃、中根、甲府、小牧の各箇所から二、三人の方が出て一つの班になって居ました。途中から班長の役目も頂きましたが、まじめにつとめて下さる人、毎日遅刻し乍ら「遅刻はすれども欠席はせず」と一日も休まずつとめて下さった人、喧嘩をして理の親に来て貰う様な人、色々な人中で兎に角楽しくつとめさせて頂きました。

造園班に所属して居ましたので、大きな木の植替、石の据え方、木の剪定の仕方等基礎的な事を学ばせて頂きました。

当時本部造園班の総責任者は、東本部内の京都の長谷川先生で後に笠岡大教会の石垣を築く時来て下さった先生です。とても明るく優しい先生でした。大きな松の木や楠の移植や、大きなサツキの木を会議所(おさづけを頂いた後仮席のある所)の南側に植えた事、板倉先生宅の庭に大きなもみじや柿の木を植えたのが印象に残って居ます。庭

の造り方生垣の作り方にも流派があると云う事はこの時初めて教えて頂きました。

いい庭を造る場合一つ一つの石を据えるのに、三日位かゝる(考える)事もあると聞きました。庭を造る事は大変な仕事だなーと云う事がよくわかりました。

又木を植える時のコツと云うか、こう云う植え方をしたら先づ枯れる事はないと云う事も教えて頂きました。事実其の後帰ってから何本も木を植えました。一本も枯れた木はありません。又木の剪定の仕方もこの時教えて頂いた事が私にとりましてどれだけ役立ったか知れません。常勤ひのきしんで何年も本部造園班に勤務して、家に帰られてからプロになられた方も数多く居られると聞きました。本音が本当だと思えます。私も我家の庭木の手入れも下手なりに随分やりました。最近では年令のせいでも高い所に上ると、とても不安定な気がしますので高い所へは上らない事にして居ますが低い所ならつい鉄を持ちたくありません。

兎に角教祖七十年祭前の本部ひのきしんでは、色々な忘れられない多くの思い出があり、私の人生の上に大いに役立つ多くの収穫のあった事は事実です。おぢばへつとめさせて頂く事の有難さ、勿体なさ、そして嬉しさ楽しさ、今思えば本当に有難い事ばかりでございます。さて八十年祭以後は次回に…。

# 看板今昔

瑞北分教会 福島 泰道

昭和五十六年笠岡詰所竣工の際、当時の詰所主任今川昌夫先生よりの依頼で、看板を書かせて頂いた事があります。一文字一メートル四方、祝竣工第83母屋笠岡詰所の十二文字、本職に頼めば十



数万の経費がかかるこの事。

交通費をお出し頂き三代君

(現米府分教会長)、美住君

(米府分用木)の三人でおち

ばに向かいました。私の書

いた下書に添って二人が

テープでマスキングをしてく

れ、より鮮明なハケ目の少ない

文字が出来上がりました。作業に何日要したのか

憶えています。帰路当時ヒットしていた「ア

バ」の曲を大音量でヘッドホン越しに聞きながら

車をぶっ飛ばして帰った事だけなぜか思い出しま

す。

以来時が経ちおちばがえりの度毎に見上げる看

板も風化で文字がかすれ、下地の白ペンキも手で

こすると簡単にはがれ落ち、地金のグレーの色が

見えるようになっておりました。はからずもこの

度九月教養掛のご命を頂き、出発前日、吉岡先生

より「筆を持ってくるように」とふたたび看板補

修のご用を頂きました。早速修養科生登校後の合

間作業にとりかかりました。幸いにも教養主任も

横山先生がとても器用に補強の為の裏打ちをして

下さり、強度も増し艶のある色直しとなりました。

ちなみに以前は一文字ずつ間隔を開けて幅広く取

りつけてありましたが、看板の大小で税金負担の

増減があるこの事からこの度はこぢんまりとペラ



ンダに取りつけさせて頂きました。私の父

(明道)の尋常小学校時代(明治終わり頃)

の図画帳が手元に残っておりますが、ど

のページにも「甲の上」と三重マルが記

してあります。又、兄(紘道)も天理高校

夜間部時代でしょうか、旧詰所の食堂の

内壁に花などの絵を書かせて頂いていた

ようです。昨今ポスター、チラシなどパソコンで

手軽に、早く、しかもカラフルにと、ずい分手書

きの出番が少なくなりましたが、機会のある毎に

心を込めて書かせて頂いております。詰所主任先

生より「看板今昔」についてかさおかの原稿を書

くようおおせつかり、今日も修養科生登校の合間、

机に向かって書いております。横山先生は相変わ

らず器具修理、樹木の剪定にとひのきしんに飛び

廻っておられます。私もこのあたりで筆をおき、

ひのきしんにかからせて頂きます。ありがとうご

ざいました。



# タンザニアからようこそ?

九月九日

修養科の夕づとめに上原志郎先生に連れられ二人のタンザニアの青年の参拝があった。聞けば別席を運ぶ為にしばらく滞在、これからも参拝したいとの事であった。突然の出来事で言葉(スワヒリ語、片言の英語)も通じずどうしてよいのか、一同ぎこちない態度で接する事となった。就寝前またとない機会と想い次の日の夕づとめ後、ゲームでもして交流を深めたいと心に決めた。

九月十日

夕づとめ後のまなびでよろづよ八首をつとめていると、すぐ後で二人の青年が見よう見まねでお手を振っていた。抱腹絶倒のお手ふりなのだが、その目は一生懸命さで光っていた。まずは自己紹介から「マイネームイズヨコヤマ」と主任につ



はジャマル君三十才、

づいて各自が、中には「マサシ(政司)オーケー? ……バチグウ」と若者のアドリブに笑いがおきた。二人の青年

ジェラード君二十二才、共に現役のソーシャルワーカー(社会福祉士)として働いている好青年たちであった。さていよいよゲーム開始だ。聞けばタンザニアではお

はよう・おやすみ・こんにちは・さようならなどのあいさつは「ごきげんいかが?」の意味で、家

の中で、路上で、バスの中でとすべて「ジャンボ」と言うそう。少年会のゲーム「キヤッチ」をジャン

ボに替えチャレンジしてみた。「へー、サークルになって」、「ライトハンド…マル」と知っている限りの英語をおりまぜてやると、上原先生が

うまく通訳してくれているのか次第にコツもつかめて、二人にもバカ受け、大いにはしゃいでくれた。「ハイハイドン」もやってみ

た。後で上原先生に聞いてみると二人ともとても喜んでくれたそうだ。まさに「ゲームが国境を越えた」ひとときでした。

九月十一日

今日は修養科生Cさんの誕生日、ささやか会食を開き、二人も招待させて頂いた。メニューのシユークリーム・ぶどうは「チャクラ(おいしい)」を連発し何人分もおかわりをした。飲み物は「ア



ブル」と言ってリンゴジュースを、コーヒーもうまそうに飲み干した。皆で「ほこりのうた」を合唱するとジェラード君が「ハッピーバースデー」を、ジャマル君はキャンドルの灯に勘違いをしたのか「ジングルベル」を唄い出した。いずれも歌詞は違うけれどメロディは日本のものと同じだった。さらにジャマル君は「Cさんのために」と右きき用ギターを左に持ってとてもリズムカルに「○△※チカ□×?チカ」と心を込めて唄ってくれた。上原先生より彼等のおちばがえりのいきさつも伺い奇しき親神様のお引き寄せを強く感じたりと、とても有意義だった。分かれ際二人がお菓子とジュースのプレゼントをCさんに手渡した。Cさんとても嬉しそうだった。もちろん全員が感激した。皆それぞれに「ジャンボく」と握手をして散会となった。…つづく。

(教養日誌より)

## 八月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には「月日にハセかいどう、ハみなわが子たすけたいとの心ばかりで」との一系列子供かわいいの親心から天然自然のお働きや身の内に入り込んでお働き下さる等して日々は少しでも陽気ぐらしへとお導き下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます。しかしながら心通りの御守護を頂きながら願ひ通りの守護を追い求め我が心の反省をするどころか願ひが叶わないからといって逆うらみをする等より陰気ぐらしへの深みにはまる者が多くいます事は誠に申し訳ない次第でございます。私共は一人でも多くの人を陽気ぐらしへと導くべく日々は朝夕に御礼申し上げますが心の埃を払いつつとめとさづけを通してたすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております。その中にも今日の吉日は八月の月次祭を執り行う日柄でございますので残暑厳しい中も厭わず寄り集いました道の子供達と相共に只今からおつとめ奉仕者一同喜び心も一人に明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめさせて頂きます。皆のつとめに寄せる真実の状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。又、先日行われました教祖百二十年祭子供おちば帰りには例年以上の大勢の子供達で賑わう事が出来ました。皆楽しく過ごす中にひやりとする場面もありましたが常に大難は小難に小難は無難にとお連れ通り頂き喜び一杯につとめさせて頂く事が出来ました事を改めて御礼申し上げます。

さて来月はにをいがけ強調月との声を掛けて頂いております。月初めには青年会が布教推進週間をそして月末には全教一斉にをいがけデーが実施されます。五十万件にをいがけを念頭に一人でも多くの人に喜びと感謝の心の大切さを伝えるべく精一杯にをいがけに歩かせて頂く所存でございます。

何卒親神様には皆の我欲を忘れひたむきに人々のたすけを願う誠真実の心をお受け取り下さいまして万たすけの上に世界一列救けたいとの親心をお現し下さり人々の心が報恩の心へと立て替わりお望み下さる陽気づくめの世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます。

### 【13】“助け合い”をさりげなく息長く



多大の被害をもたらした痛ましい震災でした。しかし、今回ほどボランティアが評価されたことも、かつてありませんでした。人と人との“助け合い”の素晴らしさが、多くの人の琴線にもふれました。常日頃、私たちは一人では生きていけません。意識するとしなやかにかかわらず、生きていくということは、大いなるものに生かされ、同時に、だれかの世話になっているのです。だから、だれかにお返ししていくのが私たちの人生ともいえます。助けたり助けられたり、普段着のままの“助け合い”を、さりげなく……。

# 天理時報

## 第1回 小惑星の接近

### “人類滅亡”のシナリオから読み取るもの



立教156年(1993年)2月から11回に亘り、『天理時報』「社会随想道と世界」のコーナーで、前大教会長様の亡弟・上原豊明先生が、「世界の話題」と題して寄稿されました。

一昔前に書かれたものながら、現在にも通ずる普遍的な切り口で、時事を通して、よふぼくのあべき姿を説かれていると思われまますので、今月より、『かさおか』誌に、転載させていただきます、諸氏の“思案”の糧に供します。

立教156年2月7日号

## 世界の話題

天理大学教授 上原 豊明

年明け早々、海の方こうから興味深いニュースが飛び込んできた。NASA(アメリカ航空宇宙局)の電波望遠鏡が、地球から三千五百万キロの距離を通過した小惑星をとらえたと発表したのだ。これは、天文学的には極めて近い距離。

写真付きで報じた一月五日付『ジャパンタイムス』によると、この小惑星は双子。直径四キロと二・五キロの二つが、互いの引力でくっついてるのが見て取れる(写真)。

これは、かなり大きい。米科学誌『ネイチャー』に掲載された報告では、一九〇八年にシベリア中

部に落下した小惑星は、わずか直径五十九メートル。これが二百平方キロにも及ぶ森林を焼き、なぎ倒したのだ。

また、先の『ジャパンタイムス』紙によれば、六千五百万年前に恐竜を絶滅させたのは、直径十キロの小惑星。いま、直径四・八キロ以上の惑星が落ちれば「全人類は滅亡」とNASAは試算する。

同紙の取材に、天文学者S・オストロウ氏は「地球は小惑星の群がりの中に位置しており、いつ衝突しないとも限らない」とコメント。直径五百メートル以上の小惑星が、少なくとも一千個から四千人、地球軌道近くにあると指摘した。

同様の報告は、昨春秋、オーストラリアの英豪天文台からも出された。この中では、西暦二一〇六年八月十四日、直径五キロのスミス・タトル彗(すい)星が地球軌道と遭遇、衝突の可能性が高いと警告。同彗星を詳細に追跡する必要があるとした。

このようなニュースを掲げるのは、世紀末的恐怖や好奇心をあおるためではない。これらの報告から、何を考えるかである。

環境破壊や戦争などは、人間の知恵と決心次第で解決の糸口が見つかると考え得る。だが、先ごろ起きた北海道の地震や雲仙噴火、さらに小惑星との衝突の可能性などを前に、人間は、なす術す

べ)を持たない。いかにきや  
しやな存在か。ならば人間  
は、もっと謙虚にならねば  
ならないはずだ。

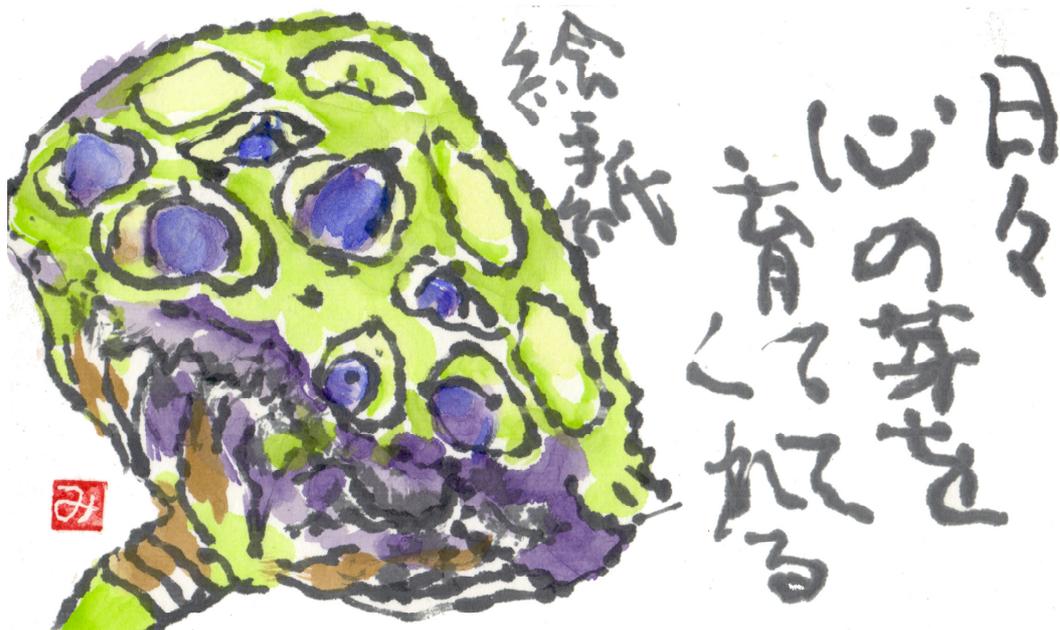
【うえはら・とよあき】  
一九二四年、笠岡大教会三代会長の四男として、岡山県に生まれる。五〇年、京都大学  
卒業。翌年、本数初の派遣生として南カリフォルニア大学に留学。五五年修士号、六十  
年博士号取得。六一年、ニュージャージー州のシートンホール大学で日本学・日本語教  
育学科設立に参画。六三年、インディアナ大学に招かれる。専門は宗教学、日本語・日  
本文化など。九十年八月、四十年ぶりに帰国し、現在、天理大学国際文化学部日本学科  
主任教授、インディアナ大学名誉教授。笠岡大教会役員。

の。このへかりものゝを  
どう使わせてもらうか。そ  
こに見せられる「身上(み  
じょう)さわり」から、ど  
んな神のメッセージを読み  
取るか。信仰者なら、そう  
考えたい。

その時、単に神に祈れば  
いいとは、私は言いたくな  
い。神がこの世と人間をつ  
くられた最初の意味を、も  
う一度思い起こそう。そこ  
に思いを寄せれば、「神人  
和楽の陽気世界」実現に向  
ける努力こそが、求められ  
る答えではないか。  
宇宙のあなたから、地球  
に、そして身の回りに目を

転じると、その至らなさを  
思う。小さな地球、狭い国  
の中、もっとへたすけの  
手を差し伸べたいもの。

アメリカに暮らしていた  
時の体験では、災害が起  
こって難儀しているとの報  
道があると、人々はすぐに  
行動を起こした。その日の  
うちに、衣類や食糧を持っ  
て赤十字社に駆けつけたも  
のだ。日本に帰ってきて、  
そんな行動すら少ないこと  
に驚いた。まずは、そのよ  
うな次元からでも実践に移  
したいものだと思ってい  
る。



## ◆大教会ひのきしん

【期 間】 9月～10月末、午前9時～。

【会 場】 笠岡大教会。

【内 容】 敷地・管内においてのひのきしん。

(植木の剪定、草刈り、刈草集め、窓拭き、その他清掃)

\*老若男女を問わず、それぞれのご都合に合った時間・内容で、奮っておつとめください。

\*昼食時間をはさんでおつとめくださる場合は、神事所に人員をご一報願います。

笠岡大教会 管理部

## ◆こかん様に続く会

【日 時】 10月14日(土)～15日(日)。

14日 夕勤め(18:00)～15日昼食後解散。

【会 場】 笠岡大教会。

【対 象】 15歳～18歳までの教会子女。

【参加御供】 500円。

\*詳細は、女子青年機関誌「つぼみ」をご参照ください。

## ◆第82回 天理教青年会総会

【日 時】 10月27日(金) 午前10時。

【会 場】 本部中庭。

\*今年が教祖百二十年祭の年、大勢の若者がおぢばに帰り集う姿を教祖にご覧いただきたい。  
この日、あなたもぜひ、おぢばへ帰り総会にご参加ください。

## ◆婦人会 委員部長講習会(岡山会場)

【日 時】 10月30日(月)、午後1時～4時。

【会 場】 笠岡大教会。

【対 象】 委員部長。

【参加御供】 1,000円。

\*会場準備、受け入れにともない、ひのきしんを10月29日(日)、午前9時より行なわせて頂きます。

## ◆おやさとふしん 青年会一ヶ月ひのきしん隊 入隊案内

\*この120年祭の年に、おやさとふしんという絶好の伏せ込みの場へ、ただひたすらに惜しめないひのきしんという真実の汗を、私達と共に伏せ込ませていただくようではありませんか。

【期 間】 11月1日～24日。

【集 合】 笠岡詰所(10月31日)。

【宿 舎】 第百母屋。

【内 容】 ひのきしん、修練、にをいげ、月次祭まなび、親睦会、等。

【申込〆切】 10月20日。

【入隊受付】 各ブロック青年会委員、もしくは所属の教会長様におたずねください。

天理教青年会笠岡分会 ひのきしん部

## ◆各行事に参加ご希望の方は、

各ブロックの担当者にお申し込みください

## ◆第2回 笠岡大教会 親睦大ソフトボール大会

一昨年、大教会長様から「大教会内で余り各会を超えて一堂に会す機会がない、是非ブロックごとの親睦を深める会を開いて貰いたい」と言うことで第1回ソフトボール大会が開催されました。

前回は10チームがエントリーし170名ほどの人が集まり賑やかな大会を持つことが出来ました。

今年は第2回目として、11月23日(祝)に開催することになりましたので、以下のスケジュールで行ないたいと思います。

<b>【期 日】</b>	11月23日(祝・木)	
	8:30	大教会集合・出発
	9:00	茂平運動公園
		遥 拝
		大教会長様あいさつ
		開会あいさつ
		競技説明
		(選手宣誓)
	9:15	プレイボール
	11:00より	昼 食
	15:30	閉会式
		成績発表
		表彰式
		挨拶
		遥 拝



**【エントリー】** チーム分けは、直1・直2・福山・高屋・島根・久松・上下&府中市です。  
10月20日までにこぞってエントリーしてください。  
参加希望の方は、所属教会の会長さんにご連絡ください。  
不明な点・ご質問がありましたら、大教会 中村義太郎、または、上原志郎までお電話ください。

**【参加賞】** 1チームの中に女性や子供も参加できるようになっておりますので、婦人会員・女子青年層・少年会員もお誘いの上、ご参加下さい。  
なお、参加者全員に参加賞。又成績の良かったチームにもトロフィー・盾・景品を用意しております。

# こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌九月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「決」、選四十七句中、笠岡に繋がる教友の方一名、一句が見事選ばれ掲載されていましたので転載させていただきます。おめでとございます。

秀 詠 東悠分教会長夫人 田 林 美智子  
琴と三味調べ決まりて和す胡弓



## 大教会だより

### ◎第七八二期修養科

自 立教169年6月1日  
至 立教169年8月27日

#### \*教 養 掛

三ヶ月間 高 木 昭 祥  
(湯田原分教会長)  
一ヶ月目 三 阪 泰 人

#### \*修 了 者

上小島 田 中 裕 二 郎  
湯田原 大 土 井 美 ツ エ  
芦 品 吉 岡 彩

#### 二ヶ月目

(福岩分教会長)  
田 中 一 矩  
(上小島分教会長)  
三 代 幸  
(米府分教会長)



暑いくくと言って

いたかと思いきやいつのまにやら秋風を感じる今日この頃となりました。スポーツの秋・読書の秋・食欲の秋・人それぞれ!

小生には植物・農作業の秋というがいちばんピッタリとくる秋となりました。一昨年迄父母まかせの畑仕事。今は小生の肩に白菜・大根・小かぶ・春菊・サラダ菜等々やれやれと思

いながらも、これ、やってみると意外と楽しみ!“まいたるたねはみなはえる”オー芽が出た、芽が出た、オーイ妻君と!そして夕方帰会して又・又オー!しっかり土から頭をもたげてる 万歳!畑を見ればその人の性格がわかると言われる。さて小生の畑は、きっちりとしている様でえいかけん!でもなんとなくよおすできとるじゃあうなあの!いづれにせよ畑仕事をしながら先人を偲び、先祖の教えを思い返し、“まいたるたねはみなはえる”今はダメでも又ははえる?”と言いかし全教一斉にをいかけ強調の月、とにかく“まいておきましょう”か?……ね!

(と)